

『製造業は伸びてこない 高専生の就職先ランキング』 高専に任せる！2018

採用戦線は売り手市場が続いているが、中でも高等専門学校（高専）は求人倍率が20～30倍にも達する激戦区だ。企業はあらゆる手を尽くして高専生に秋波を送る。優れた若き力が集まりゴールデンエイジとも言われる高専生。企業はいかに争奪戦を繰り広げているのか。「高専に任せる！ 2018年就職先ランキング」を読み解く。

国立高専生就職先ランキング

企業名	採用数(うち女性)	17年
1 JR東海	80(9)	72
2 サントリーグループ*	66(18)	60
3 花王	65(18)	55
4 旭化成	60(7)	52
5 ダイキン工業	57(17)	53
6 三菱電機ビルテクノサービス	49(2)	52
7 中部電力	48(6)	43
関西電力	48(11)	46
JXTGエネルギー	48(6)	46
10 東京ガス	45(15)	41
メンバーズ	45(10)	31

*はグループ会社含む

もはや高専出身者がいなければ製造現場が持たない。それほど採用に力を入れるのが2018年春の採用数で2位のサントリーグループだ。

機械や電気など高専が得意とする「モノづくり」とは遠いイメージがあるが、実は生産・技術系採用の半数以上を高専出身者が占める。採用を担うサントリーホールディングスの部署名は、その名も「MONOZUKURI本部」。モノづくりの司令塔だ。

高専は5年制。就活は4年生の夏のインターンシップ（就業体験）から始まり、5年生の春には教授らと相談して志望を固める。その後は理系の大学生らと同様に学校から推薦を得たり、エントリーして選考を受けたりする。

■5日間就業体験



サントリーグループはインターンシップを5日間開催し、セミナーや見学会でフォローするサントリーは夏休みに5日間のインターンシップを実施。高専生はビール、スピリッツ、清涼飲料の各事業会社の工場を見学する。案内役は高専出身の社員だ。冬にはセミナーを催し、進路が固まる春にはさらに半日間の工場見学も開くなど、きめ細かくフォローアップする。「ここまで高専生採用に積極的に取り組む企業は他にない」（サントリーホールディングス・MONOZUKURI本部開発生産推進部の居原田圭課長）

11年3月11日のことだ。群馬県渋川市にある榛名工場での見学会。始まって間もなく東日本大震災が発生し、大きな揺れに見舞われた。見学会は中止となり、遠方からの高専生は帰りの交通手段が奪われた。そのとき工場で働く高専出身者が、保護者への連絡からホテルの予約、食料調達などに奔走。余震が続く夜になっても高専生に寄り添った。献身的な高専出身者の姿に胸を打たれ、入社を決意を固めた学生もいる。

12 出光興産	44(0)	52
国土交通省	44(17)	45
NTT東日本グループ*	44(8)	47
(エンジニア)		
15 ファナック	40(0)	19
16 NTTフィールドテクノ	38(9)	21
17 キヤノン	37(8)	38
キヤノンメディカルシステムズ	37(6)	23
19 大阪ガス	36(9)	36
20 富士電機	31(3)	24
21 中国電力	30(3)	28
22 パナソニック	29(4)	28
23 セイコーエプソン	26(4)	31
24 東レ	25(6)	13
三菱電機	25(1)	25
26 SUBARU	24(5)	32
SUBARUテクノ	24(2)	1
28 DMG森精機	23(5)	11
JR西日本	23(3)	31
NTTインフラネット	23(6)	22
ANAライオンズメンテナンス	23(2)	24
ステークス		

毎年50人前後の高専生を採用するダイキン(57人、5位)は高専生向けにパンフレットなど充実した採用資料を用意している。業務内容はもちろん入社後の研修やキャリア形成、寮生活に至るまで、高専出身者のコメントとともに盛り込む。入社後の姿を詳細にイメージさせる狙いだ。

ロボットや人工知能(AI)の技術も駆使してモノづくりの高度化を目指すダイキン。「大学の工学部出身者と違って、高専生は早くから実際にモノづくりを経験しているのが強みだ。学力のベースも高い」（人事本部の山田智彦人事企画グループ長）

ある高専の就職担当教授は企業へこんなメッセージを送る。「高専生は大卒社員と伍（ご）していけるのか、先輩の動静に極めて関心が高い」。本科生の場合、20歳で社会人となる不安を解消させることが円滑な採用につながる。



全国にいくまなく配置されている高専は地域との関わりも深い。NTT東日本は18年春入社から、本社採用だけでなく地域会社でも採用を始めた。エンジニア職はNTT東日本グループとして一括で採用。北海道から南関東までの4地域子会社と、システム構築支援などを手掛ける

NTT-MEで働くことになる。

入社後は通信回線の保守をはじめ、基幹ネットワーク構築、サイバーセキュリティ業務などもカバー。地域の情報通信産業の中核人材となる。

■採用数が倍増

採用者数を大幅（約2倍）に伸ばしたのが東レ（25人、24位）だ。炭素繊維など先端素材に強みを持ち、海外事業の重要性が一層高まっている。一方で兵站（たん）

32 日東電工	22(9)	24
33 フジテック	21(4)	16
34 LIXIL	20(4)	16
中外製薬工業	20(9)	15
日立ビルシステム	20(2)	21
JR東日本	20(5)	15
38 ホンダ	19(2)	27
森永乳業	19(4)	23
40 東北電力	18(1)	18
メタウォーター	18(5)	16
国立印刷局	18(4)	20
NNTコムエンジニアリング	18(5)	19
東京水道サービス	18(9)	20
三井化学	18(1)	6
46 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ	17(1)	14
四国電力	17(1)	13
雷印メグミルク	17(8)	18
三菱電機エンジニアリング	17(1)	14
JALエンジニアリング	17(4)	16

が伸びてはいけないうと、国内の研究開発や生産技術を支えるキーマンとして、高専出身者の重要性が増している。

「高専生は基礎からみっちり勉強しており、土台がしっかりしている」（東レ）。高度経済成長時代に大量採用した技術者の退職も理由の一つだという。

他にも「探究心の強さを高く評価している」（ランキングトップのJR東海）、「高い専門性を有している」（7位の中部電力）。「実習・実技を経験していることが大卒にはない魅力」（26位のSUBARU）——。高専生を積極採用する大手企業からはそんな評価が聞こえてくる。

かつては重厚長大な製造現場を支えた高専も、産業構造の変化を敏感に感じ取っている。文部科学省「学校基本調査」（18年）によると高専卒業生（国立、公立、私立）のうち、10年間で構成比が大幅に伸びたのが「学術研究・専門・技術サービス業」。研究所やコンサルタント系の仕事にこれに相当する。

知識集約型産業である情報通信業も伸びた。IT人材不足と高専生のプログラム技術の高さが合致した結果だ。また

業種	2008年	2018年	増減比
学術研究・専門・技術サービス業 (コンサルタント系)	3.3%	6.1%	↑2.8
→ 市場分析や戦略立案にも活躍の場			
情報通信業	10.6	12.2	↑1.6
→ エンジニアなどIT人材の需要が伸びる			
電気・ガス・水道業など	5.6	7.1	↑1.5
→ 新エネルギー・環境で技術力が買われる			
製造業	56.0	50.0	↓6.0
→ 業種は多様化。スタートアップでもニーズ			

(注) 高専生の産業別就職先構成比。文部科学省「学校基本調査」より

電気・ガス・水道業も構成比が向上。再生可能エネルギーや環境関連などの成長分野で高専生の能力が買われた。

高専生向けのキャリア支援サイトを運営する高専キャリア教育研究所（東京都稲城市）の菅野流飛社長は「スタートアップ企業の引き

合いも強い」と指摘する。大手に流れる傾向はあるが、「現場に強く、粘りがある高専生の魅力に気付いたIT企業も増えている」と見る。大手から中小やスタートアップまで巻き込んだ高専生の争奪戦がますます過熱しそうだ。

（編集委員 田中陽、企業報道部 小柳優太）日経産業新聞 2018年10月19日



『釧路高専オープンキャンパス』

7月21日、オープンキャンパスに行ってきました。上の記事にある就職先ランキング2位のサントリーに釧路高専からも行っていること、各学科の近年の求人者数の多さに驚きました。市職員を昨年3月に定年退職し、61歳で今年入学した高木亨さん（左）にも遭遇しました。

また、総務課に伺い、高専5年終了後からの大学入試に関する貴重な話を聞かせていただきました。将来、工業系、技術系に進みたい人は、大学のような恵まれた環境の高専ですね。

電気工学科 2018年度就職・進学状況

2018年7月12日 電気工学科
内々定率100%

就職希望者数(人)	内々定率
サントリー	4月17日 内々定
東海開発	4月18日 内々定
パナソニックオートモティブ	4月25日 内々定
よつ葉乳業	4月26日 内々定
双エエンジニアリング	4月27日 内々定
株式会社	5月07日 内々定
東産電機	5月08日 内々定
日本ビクター	5月08日 内々定
大塚製薬工場	5月09日 内々定
大塚製薬工場	5月09日 内々定
中部電力	5月11日 内々定
北海道電力	5月18日 内々定
北海道電力	5月18日 内々定
ユニチカ	5月23日 内々定
北海道電気保安協会	6月05日 内々定
富士電機	6月06日 内々定
シャープ	6月08日 内々定
ファナック(女子)	6月13日 内々定
北産電気工業	6月18日 内々定
電制	6月29日 内々定
富士電機	7月12日 内々定
豊橋技術科学大学	

2018年度卒業予定者の就職内々定状況 (2018年6月1日現在)

業種	就職内々定率(%)
機械	31
電気	24
電子	27
情報	34
建築	31

詳細は無料配布の電気工学分野パンフレットに有ります

過去の求人者数実績

会社数	機械	電気	電子	情報	建築
2004年度	214	243	201	145	53
2005年度	269	321	271	199	75
2006年度	376	365	318	230	100
2007年度	461	450	408	316	157
2008年度	538	570	506	453	219
2009年度	393	420	351	299	133
2010年度	356	420	371	323	165
2011年度	425	400	346	321	180
2012年度	441	440	331	320	182
2013年度	515	422	365	346	183
2014年度	503	430	441	361	264
2015年度	560	500	488	400	321
2016年度	409	426	492	310	382
2017年度	519	528	444	382	382

